



芦安中学校だより

第9号

校長 石原敬彦

2020 1.23

令和2年・明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

令和2年が始まりました。今年、私の令和2年は1月1日、朝5時20分集合で行われた新聞配達出発式でスタートしました。今年の出発式には、渡辺新聞店の渡辺次朗 社長様をはじめ、地域との連携にご尽力くださっている藤巻孝也 青少年コーディネーター様、実際に新聞配達をお手伝いいただいている地域の有志の皆様も参加してくださいました。私が式に参加させていただくのは今回で3回目となりますが毎回身が引き締まるような、そしてとても前向きな気持ちになります。「明けましておめでとうございます」とさわやかにあいさつしてくれた、さくらさん・洸弥さん・かす美さん・未来さん・和奏さんの5人から 私は今年も年明け最初の元気をもらいました。感謝です。冬のこの時期は寒さが厳しい上に、日の出が遅く、新聞配達も暗い中で行われます。元旦の厚く重い新聞を抱えて、配達に颯爽と飛び出して行った5人。「すごいなあ」と改めて思いました。昭和の自宅に戻りながら、夜明け前の満天の星空と東の空のグラデーション、そして甲府盆地の夜景が今年もきれいでした。



令和2年1月1日 飯野地区からの夜明け

3学期の始業式は1月8日に行われました。生徒会長のかす美さん、そして学年の代表の1年 麻央さん、2年 洸弥さん、3年 さくらさんの決意表明もはどれも想いの込められたすばらしいものでした。私からは、初心に戻って、毎日の一時間一時間の授業を大切にしてほしいというお話をさせていただきました。特に「わからないことを大切にすること」「わからない時には自分から援助を求めること」「仲間から援助要請があったら精一杯応えてあげること」の3つと、それに加えて「仲間が自分で一生懸命挑戦しようとしていたら、黙って見守ってあげること」も大切にしてほしいと話しました。私は学校生活の8割の時間を占める授業こそ、お互いの信頼を築くための最も重要な場所だと思っています。一時間一時間の授業の中でお互いを気遣い、支え合い、ともに伸びていく・人として成長していく。その中で学力も大きく向上していくものだと信じています。3学期は大変短い学期ですが、一年の集大成として生徒・職員一丸となって充実したものにしていける所存です。今学期もよろしくお願いたします。



1月19日朝7時・自宅の書斎の窓からの薬師ヶ岳 右端は観音ヶ岳 同日朝10時・中央市 大田和地区からの北岳
 昨年の全校登山は鳳凰三山でした。今年は北岳に登ります。全校登山30周年となるため、2月3日での実施を現在検討中です。

毎月ご厚意で芦安中にパンを届けてくださる「ルパン」さん、本当にありがとうございます。



パン工房「ルパン」の酒井一様

もう3年になろうとしています。実は芦安中の生徒と職員の全員に毎月自家製のパンを届けて下さっている方がいらっしゃいます。甲斐市でパン工房「ルパン」を運営していらっしゃる酒井一様と奥様、そして息子さんです。芦安中の生徒が新聞配達をしてがんばっている姿をテレビでご覧になり、芦安中全体を応援して下さるお気持ちから、パンを届けてくださるようになりました。平成29年の4月より毎月一度欠かさず息子さんが甲斐市から芦安まで車でパンを届けて来てくださっています。昨年の12月からは、「小中一貫教育校になったのだから」とおっしゃって中学校だけではなく、小学校の全児童と全職員にもパンをくださるようになりました。当初から「匿名にしておいてほしい」との強いご希望でしたので、学校便り等で紹介することは控えさせていただいてきました。今回、こうして紹介をさせていただくことになったのは、ひとえに私自身がどうしてもそのようにさせていただくことで、感謝の気持ちをきちんとお伝えしたかったからです。3年間という長きに渡ってのご厚意です。先日甲斐市の酒井様へのパン工房にお伺いし、学校便りに載せさせていただくことをお願いし、やっと許可をいただいた次第です。紙面をお借りして改めて心より感謝を申し上げたいと思います。

関係者・地域の有志の皆様と今年も御勅使川に「アマゴ」の放流をいたしました！

1月9日の放課後、御勅使川や富士川でアマゴを育てるプロジェクトを主催している皆様が来校され、昨年に引き続き、ご指導の下、本校生徒が本校で孵化させた稚魚を御勅使川に放流いたしました。放流する前に主催者の皆様がお話をして下さり、過去に放流したアマゴが成魚のサツキマスとなって釜無川を遡り、実際に信玄堤付近では大きく成長したサツキマスが何匹も確認されているとのことでした。今回は成魚のサツキマスを実際にお持ち下さり、見せてくださいました。想像していたよりも大きな魚で、びっくりしました。昨年同様、このプロジェクトの地域でのリーダーを務めてくださっている伊東様、そして地域おこし協力隊の中島様・鈴木様、なとり屋旅館の店主の名取様にもご協力をいただきました。

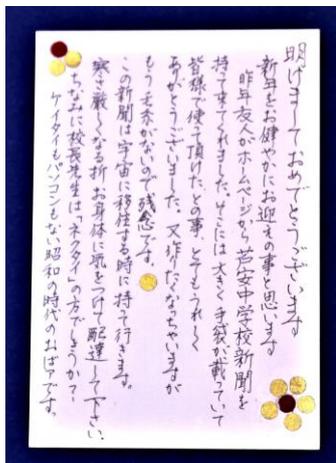


成魚のサツキマス



放流の仕草にも優しさが

芦安中学校を応援して下さっている方をさらにお二人紹介させていただきます。



□昨年1月に匿名で全校生徒に毛糸の手袋を編んで下さり、送ってくださった女性の方
今年のお正月、年賀状をいただきました。(左に載せさせていただきました) 芦安中学校のホームページをご覧いただけたとのこと、本当にありがとうございます。本来ならば、こちらから年賀状を差し上げるべきところですが、ご住所もお名前もわからないため、再度この学校だよりをとおしてお礼を申し上げたいと思います。健康で輝かしい一年となりますよう、心より祈念申し上げます。昨年の学校だよりの写真の件ですが、後ろから4列目、左から3番目、パーカーの上にブレザーを着ているのが当時32歳の私です。

□地域にお住いのミュージシャン しばやしかつお様
昨年の暮れに学校に来られ、生徒全員と職員にも全員分、ご本人が発売されたCDをくださいました。早速聴かせていただきましたが、とても素敵な曲でした。小林様はやまぶき祭でもすばらしいギターの弾き語りを披露され、芦安文化祭にも地域の有志の皆様と出演されました。「芦安文化祭で生徒の真っ直ぐな歌声に、失くしてはいけない大切なものを感じ取れて勉強になりました」「お礼になるかわかりませんが」と言ってくださいました。ありがとうございます。CD、保護者の皆様もぜひ聴いてみてください。



ありがとうございました。ありがとうございます。CD、保護者の皆様もぜひ聴いてみてください。

1月20日、佐藤雅彰先生をお招きして今年度最後の小中合同の授業研究会を行いました。

1月20日、11回目の小中合同校内研究会を行いました。授業を公開し合うのは6回目となり、今回で小中全員の先生方の授業公開が終了しました。今年度は、日本国内はもちろん、海外からもたくさんの援助要請を受けて支援にあたられている、元岳陽中学校校長の佐藤雅彰先生に過密なスケジュールを調整していただく中で5回も芦安小中学校に足をお運びいただきました。「すべての児童・生徒の学びの権利を保障すること」「一人ひとりの児童・生徒をまるごと引き受けること」先生の教えを大切に今後も理想の学校を目指して一步一步着実に進んでいきたいと思います。



2年生地理の授業を公開



1



表情



3



2 オブザーバーも加わった公開授業後の合同研究会



元岳陽中学校校長の佐藤雅彰先生のご指導